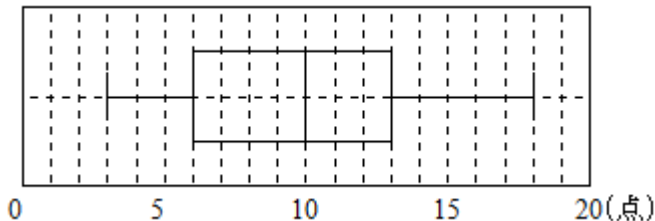


2-7 箱ひげ図とデータの活用

1 右の箱ひげ図は、30人に20点満点のテストを行った結果を表したものです。

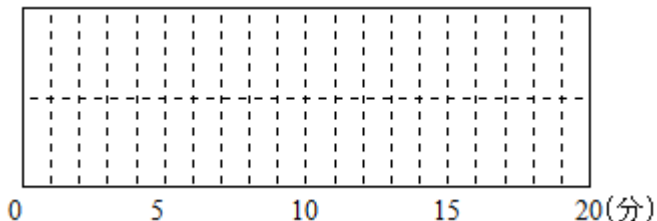
- (1) 最大値と最小値を求めなさい。
- (2) 四分位範囲求めなさい。
- (3) 中央値を求めなさい。



2 生徒12人について、通学時間(分)を調べると、下のようになりました。

- (1) 四分位数を求めなさい。
- (2) 箱ひげ図をかきなさい。

14, 8, 19, 6, 9, 16, 11, 8, 5, 4, 13, 19

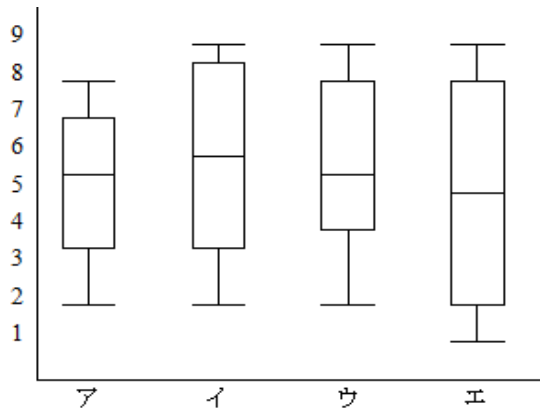


3 図は、①から④の各データの四分位数を表したものです。各問いに答えなさい。

- (1) アからカにあてはまる数値を求めなさい。

	第1四分位数	第2四分位数	第3四分位数
① 1, 2, 4, 5, 6, 8, 9	2	ア	8
② 2, 5, 6, 8, 9	イ	6	ウ
③ 2, 5, 6, 8	3.5	エ	7
④ 2, 4, 5, 6, 8, 9	オ	5.5	カ

- (2) 図のアからエは、①から④のデータを箱ひげ図にしたものです。アからエの図がどのデータを示しているか答えなさい。



4 図は、ある中学校の A 組 32 人と B 組 32 人のハンドボール投げの記録を、箱ひげ図で表したものである。正しく述べたものをアからオの中から二つ選びなさい。

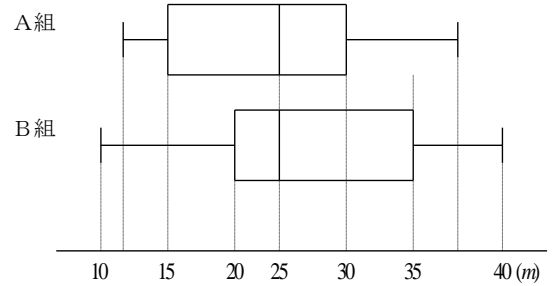
ア A 組と B 組は、範囲がともに同じ値である。

イ A 組と B 組は、四分位範囲がともに同じ値である。

ウ A 組と B 組は、中央値がともに同じ値である。

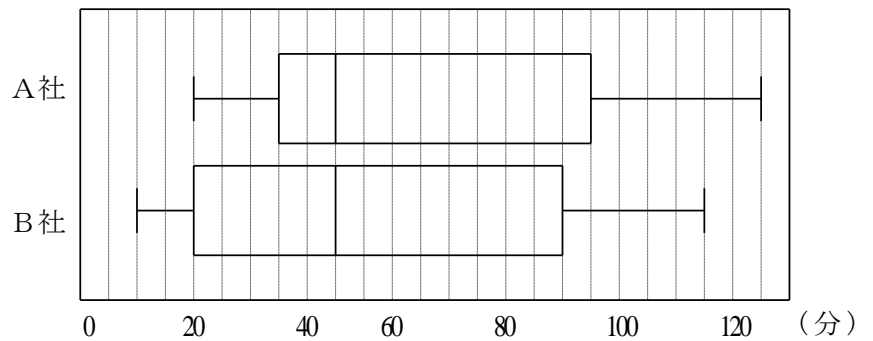
エ 35m 以上の記録を出した人数は、B 組より A 組の方が多い。

オ 25m 以上の記録を出した人数は、A 組、B 組ともに同じである。



5 図は、A 社と B 社のそれぞれ 100 人を対象にして、会社までの通勤時間を箱ひげ図に表しました。

次の各文章について、正しい場合は①、正しくない場合は②、そうとは限らない場合③と答えなさい。



(1) 通勤時間が 30 分以内の人は B 社よりも、A 社の方が多い。

(2) A 社も B 社も、通勤時間が 45 分以上の人が 50 人いる。

(3) 通勤時間が 90 分以上の人は B 社よりも、A 社の方が多い。

(4) A 社も B 社も通勤時間のデータの範囲は同じである。

(5) 通勤時間の平均は B 社よりも、A 社の方が大きい。